

10/18 未来政治塾 in 釜ヶ崎

未来政治塾フィールドワーク in 釜ヶ崎。

万博や高度成長の建設現場に全国から集められた労働者の街。わずか 0.6 km²に 25000 人がひしめき、今も多い日には 1000 人近い日雇い労働者の求人が成立。

だが野宿者も 1 日 500 人、生活保護でしか暮らせなくなった人が 9000 人という。

生活保護は畳で暮らせるので、保護に上がるという。それは嫌だと、一回 200 人近い人が特別清掃で働く現場の説明からスタート。月 5-6 回、賃金をもらい頑張っている。

次は生活保護の人達に、人の絆と文化活動一昨年できたひと花センターに訪問。

2 枚目は小学校の壁にシャワーがある。今は花に水をやっているが、昔は「お前たちもたれるな」「小便するな」だったらしい！ 3 枚目はドヤがホテルになり福祉アパートに変わっていく。

三角公園すぐ横、家賃は 3 畳で生活保護の 4.2 万円上限？！

公園横にはシェルター、エアコンもないが、300 人は泊まる。

まずは実態を知ることから。カマの労働者の行く末を見守り、NPO 釜ヶ崎支援機構が取り組んでいる姿を見せてもらいました。

